

I. 「エマオへの道」: イエス様はどのように旧約を読まれたのか？

序論: 本日から旧約聖書概要と改革主義神学の契約神学の基本を学ぶクラスを始めます。この学びの目的は「海浜幕張めぐみ教会」の「めぐみ」について共にもう少し深く知るためです。もし誰かに「キリスト教のめぐみと仏教のめぐみ¹また、一般的に使う「めぐみ」はどう違うのですか？」と聞かれたら、どう答えたらよいのでしょうか？この旧約概要のクラスでは、三つのテーマに焦点をあてて、この質問に答えていきたいと考えています。

1) キリスト教の「めぐみ」は、聖書の抽象的な「教え」ではなく、聖書の歴史に基づいた「ドラマ」なのです。

「聖書の歴史という『殻』をむいて、聖書に秘められている教えという『実』を取り出さなければならない」という考え方がよくあります。² しかし、キリスト教の考え方はその正反対です。聖書の歴史自体が「実」であり、「めぐみ」はよくある抽象的な概念ではなく、具体的な歴史から生まれた概念なのです。(アメリカの「自由主義」は抽象的な哲学ではなく、具体的な歴史から誕生したと言う事と同様です。)同じように、キリスト教の神様は一般的な神様ではなく、「アブラハム、イサク、ヤコブの神」であり、12人の弟子の神様でもあります。つまり、キリスト教における「めぐみ」は聖書の歴史から引き離すことはできません。

Acts 17:28-33『私たちは神の中に生き、動き、存在している』のです。あなたがたのうちのある詩人たちも、『私たちもまた、その子孫である』と言ったとおりです。そのように私たちは神の子孫ですから、神である方を金や銀や石、人間の技術や考えで造ったものと同じであると、考えるべきではありません。神はそのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこでも、すべての人に悔い改めを命じておられます。なぜなら、神は日を定めて、お立てになった一人の方により、義をもってこの世界をさばこうとしておられるからです。神はこの方を死者の中からよみがえらせて、その確証をすべての人にお与えになったのです。死者の復活のことを聞くと、ある人たちはあざ笑ったが、ほかの人たちは「そのことについては、もう一度聞くことにしよう」と言った。こうして、パウロは彼らの中から出て行った。

2) キリスト教の「めぐみ」は、自分中心ではなく、キリスト中心です。

私達は、どんなに御言葉や神学を学んでも、御言葉が語る「めぐみ」について誤解することがあります

聖書の解釈は大きく二つに分かれると思います。それは、「主人公は自分である」か、「主人公はイエス様である」かです。例えば、ダビデとゴリアテの話には二つの解釈があります。①「ダビデのように自分が神様により頼む」ことを強調するか、②「ダビデ以上に神様により頼むイエス様を仰ぎ見る」と言う二つの解釈です。どちらを強調するかによって、またはイエス様の立場をどこに置くかによって「めぐみ」の意味が全く変わります。

John 5:37-39 また、わたしを遣わした父ご自身がわたしについて証言しておられます。あなたがたは、まだ一度もその御声を聞いたこともなく、御姿を見たこともありません。また、そのみことばをあなたがたのうちにとどめてもいません。父が遣わした者をあなたがたが信じないからです。あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。

3) キリスト教の「めぐみ」は律法中心ではなく、福音中心です。

「律法中心」と「福音中心」とはどういうことでしょうか？律法はただ堅苦しい儀式の規定や細かいルールを書いた書物ではありません。律法は「心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なる私た

¹ 浄土真宗は宗教改革の選定論に非常に似ているところがあります。

² 例: キリストが起こした奇跡、キリストの十字架刑、キリストの蘇りという出来事は「殻」で、その中に秘めている教え(愛、恵み、悔い改め、改革、赦し)が「実」である。これはリベラル神学の父、Friedrich Schleiermacherが提示した発想です。

ちの神を愛すること、また自分を愛するように私たちの隣人を愛すること³を教える書物です。つまり、律法は「愛による」ものなのです。

福音は「良い知らせ」という意味です。私たちに求められているのは、ある出来事の詳細を聞いて、その「良い知らせ」をただ信じるか信じないかなのです。そして、福音を信じるか信じないかは、自分が神様と隣人を愛した度合とは関係なく、「信仰」によるものなのです。

「律法は、『信仰による』ではありません。」(ガラテヤ3:12)と書いてあるので、「信仰による福音」と「愛による律法」は対照的なことです。「愛」と「信仰」を区別できないと、律法主義に陥る恐れがあります。

イエス様はルカ24章で二人の弟子たちに憤っておられました。なぜなら、弟子たちは旧約聖書を「福音中心」で解釈していなかったからです。

改革主義神学はイエス様の旧約の理解について深く考え、旧約聖書をどのように解釈し、それを通してどのようにクリスチャンをイエス様へと導くかを、500年間も研究し続けました。このクラスは、改革主義神学の旧約聖書の理解を通して少しその実を味わうことができますと思います

Luke 24:13-27: ...するとイエスは言われた。「ああ、愚かな人たち。預言者たちの言ったすべてを信じない、心の鈍い人たち。キリストは、必ず、そのような苦しみを受けて、それから、彼の栄光に入るはずではなかったのですか。」それから、イエスは、モーセおよびすべての預言者から始めて、聖書全体の中で、ご自分について書いてある事がらを彼らに説き明かされた。

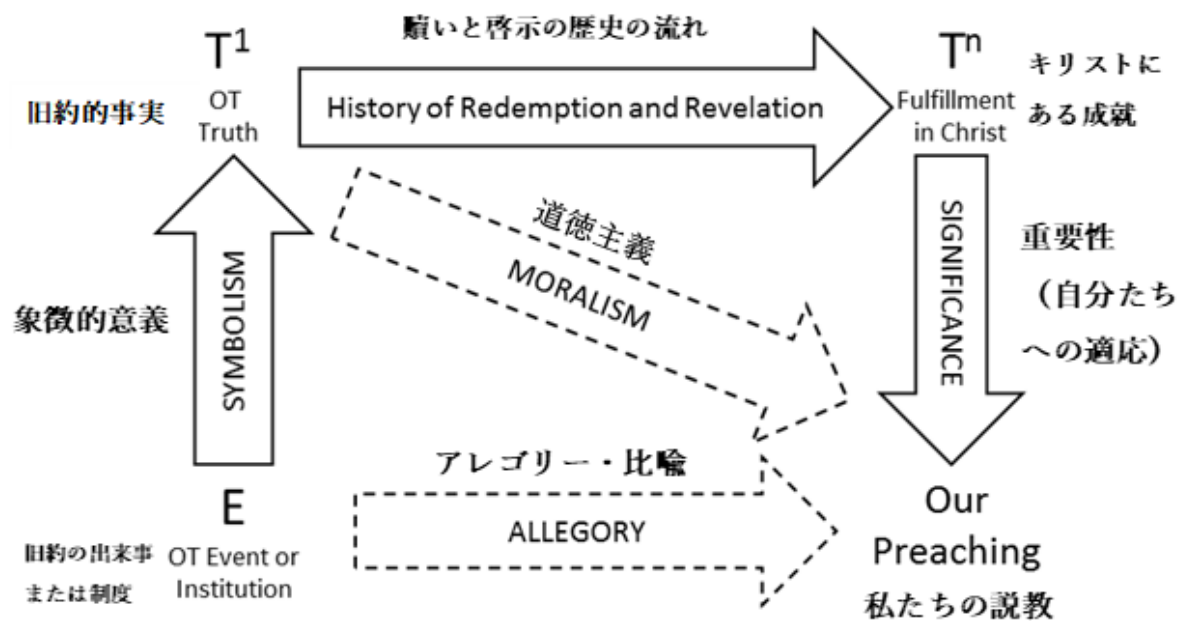
Luke 24:44-48: さて、そこでイエスは言われた。「わたしがまだあなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことばはこうです。わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就するということでした。」そこで、イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、こう言われた。「次のように書いてあります。キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。あなたがたは、これらのことの証人です。

³ 小教理問答42

旧約のまとめ

契約の種類	わざの契約	恵みの契約				
契約名	わざの契約	ノア	アブラハム契約	シナイ山契約	ダビデ契約	新しい契約
主な聖書箇所	創世記1-3	創世記9	創世記12, 15	出エジプト19; 申命記	2サムエル7	エレミヤ 31:31-34; ヘブル 8:5-13
目的	代表者の従順によって、永遠の命か永遠の死を与えるわざに基づく契約	イエス様の再臨まで神様のさばきから(保護)される契約	神様が一方的に地、祝福、子孫を与える(約束)の契約	この世のひな型を通して、自分の義の無さと代表の必要性を教える(教育)の契約	完璧な王様による永遠の王国が与えられる(約束)の契約	完璧な仲介者を通して、今までの契約を成就する(最後)の契約
条件	代表であるアダムの完璧な従順	神様の(忍耐)のみ	(恵)のみによって与えられ、(信仰)のみによって受ける	イスラエル人全ての(完璧)な従順	(ダビデ)の子孫の完璧な従順と神様の恵み	イエス様を認め、受け入れ、より頼むこと
報酬・祝福	神様の永遠の安息にある永遠の命	全人類が神様のさばきによって滅ばないこと	(天)にある地と祝福、究極の子孫であるイエス様と永遠の命	カナンの地、この世にある神殿	永遠の王国、王権、神殿	わざの契約の報酬を受ける
裁き・罰	アダムと彼の子孫に与えられる永遠の死とさばき	なし	神の民から切り離される	カナンの地から追い出される、神殿の破壊	完璧な王様がくるまで祝福されない	わざの契約の罰を受ける
結果	アダムは墮落し、全人類が罰を受けた	イエス様の再臨まで神様のさばきから保護される	信仰によって、神の民は義と認められて、永遠のいのちを頂くことができた	イスラエルの墮落、バビロン捕囚、神殿の破壊	イエス様の再臨まで永遠の王国が建てられなかった	イエス様と共に死に、蘇り、天に上り、神様の右の座に座る
イエス様のひな型	第2アダム	ノアの模範箱舟	究極のイサク	唯一の従順なイスラエル人	完璧なダビデの子孫	永遠に生きる仲介者

このクラスで使う解釈法



II. 旧約の禁断の愛? :ホセア書から旧約の枠組みと福音を学ぶ

① 創造: 神様は罪深い人を花嫁のように愛される

ホセア1:2-3, 6-7, 8-9 (エゼキエル16:1-14) (エレミヤ2:1-3,20-25)

- 創造の時、神と人の中には(契約)があった。そして、結婚の契約と同じように、お互いを愛する責任があった。
- 人間は(ゴメル)のように契約を破っている。
- 人間は契約を破っても、神様は(忍耐して)愛し続けてくださる神様がこのように愛してくださることを知ったら、どう思いますか?

② 罪: 罪は姦淫と同様。⁴

ホセア2:5-8, 2:14 (エゼキエル16:15-22, 30-43) (エレミヤ3:6-14)

- 私たちはゴメルのように「浮気相手」の(モノ)に引かれて、神様と取り換える。しかし、神様が究極的にそのモノを与えてくださっているのに気付かない。
- つらい時や自分の都合で、私たちは恥ずかし気もなく神様に(戻ること)があります。罪は神様を裏切り、恥をかかせて、使い捨てることだ。
- しかし、なぜか神様は罪深い妻を(くだきます)。

もし「罪」=「浮気」と理解するなら、自分の「浮気相手」は誰だと思いますか?

よく「恋は盲目だ」と言いますが、あなたもゴメルのようにその「浮気相手」に支配されていませんか?

③ 贖い: 神様は私たちが犠牲的に愛して下さった夫・花婿です。

ホセア3:1-3; エペソ 5:25-27 (エゼキエル 16:59-63) (エレミヤ31:31-34)

- 罪(浮気相手)は私たちが裏切って(死)の牢屋と支配に売り渡す。
- 神様は私たちと(離婚する)資格はあったけれど、犠牲を払って私たちが贖い出した。
- (十字架)は花嫁を救出するためのわざだった。

罪深い花嫁を救うために、イエス様が自分の命を捧げたと理解するなら、あなたのイエス様に対する理解はどう変わりますか?

④ 待ち望む: クリスチャンとは、イエス様という夫・花婿のみを愛そうとし、待ち望むことです。

黙示録 19:6-8; ヨハネ14:1-3; 黙示録22:17,20 (エゼキエル37:21-28)

- イエス様は私たちが贖われる時、私たちに白いウエディングドレスを与えられる—それは(イエスの義)である。
- イエス・キリストは天に昇られたとき、一緒に住む場所を(備え)に行ってください。
- そして、私たちは花婿の再臨を待ち望んでいる(花嫁)である。

あなたはイエス様を愛し、待ち望みたいでしょうか。それはなぜでしょうか。イエス様の再臨の時のためにどのように待ち望みたいでしょうか。

⁴ WSC14 罪とは、何ですか。

答: 罪とは、神の律法への一致に少しでも欠けること、あるいは神の律法にそむくことです。

III. 神様とアダムのわざの契約

序論: 神学者の間では、「救済論の前に、終末論がある」という表現があります。この意味は、私たちがどう救われるかについて話す前に、私たちはどのように裁かれるかについて話す必要があるということです。どのように裁かれるかを理解すれば、どのような救いが必要なのかがわかるということです。

本日の話は、二人の王様—第1アダムと第2のアダム—について話しますが、この話を理解できれば、聖書全体の流れ、私たちの救いについての理解が深まります。逆を言いますと、この話を誤って解釈すれば、聖書全体の流れ、私たちの救いについて誤って理解するかもしれません。そして、聖書は本質的に「ドラマチックな歴史」なので、この「二人の王様」の話を一緒に楽しみましょう！

① この世を創造されたとき、神様はこの世の王として、天の御国に似せて三つの王国を建て、七日目にこの永遠の安息をとった。Gen 1:3-24のまとめ

	天の王国	海と空の王国	地の王国
空間	天 (Day1)	海と空 (Day2)	地 (Day3)
民	太陽、月 (Day4)	魚と鳥 (Day4)	動物と人 (Day6)

- 創世記1章のメインポイントはどのように神様がこの世を創ったのかではなく、誰が(主権)を持っているのかを主張している。当時の人たちはよく(太陽・月・海など)を神様として偶像化していましたが、聖書の神はそれを全てお創りになり、治め、ご支配しておられることをここでは強調している。
- 神様が創造した後の安息は、(勝利者)としての安息であった。王国を治め、被造物を支配し、王国を眺めて「よし」と満足されたことを示している。
- しかし、この世はただ天国の(ひな型)でもある。(イザヤ 66:1)

適応: 私たちは神様を「王様」として恐れ敬っているでしょうか。

② 神は人間を王である神の形に似せて創られ、神様の代わりに人間にその三つの王国を治めさせた。そのため、責任、任務、能力、権限、助け手、守りを与えた。

責任: 創1:26—神様の王国を(管理者)として治めること。

任務: 創1:28—神様の王国を大都市に(発展・拡大させる)こと。

創2:15—聖なる神殿を(大切に管理すること)、(神様の敵)から守ること。

能力: エペソ4:24—(善と悪)を見分ける能力。

権限: 創1:28-30;2:19-20—(神様)のようにアダムは王として被造物を支配する。

助け手: 創2:18,21-22—(エバ)をアダムの助け手として与える。

守りと支え: 創2:8-9—エデンの園はある意味(神のお城・神殿)であり、神様がアダムを守って支えるところでした。

適応: 私たちは私達自身のことをこのように価値ある尊いものとして考えているでしょうか？周りの人のこともどのように考えているでしょうか。これほど良いものが与えられているのに、私達は感謝しているでしょうか。(参照: Rom1:18-22)

③ その結果、アダムは人間の代表として、神様とわざの契約を結んだ。

ウエストミンスター信仰基準 7.1 - 神と被造物とのへだたりはまことに大きいので、理性的被造物が創造主としての神に対して服従しなければならぬ義務があるとはいえ、彼らが自分の祝福や報いとして、神を喜ぶということは、神が契約という方法で表わすことをよしとされた神の側のある自発的なへりくだりによる以外には、決してできなかった。

- 理性的創造物—人間、御使いなど—は創造主である神様に従う義務があり、神様は従う者に(報い)を与える必要はない。(参照: Luke 17:10)
- しかし、神様は特別に、ご自身の自発的なへりくだりによって、人間と(契約)を結んでくださった。

ウエストミンスター信仰基準 19.1 - 神は、アダムにわざの契約として律法を与えられた。それによって神は、アダムとそのすべての子孫とに、人格的な、全き、厳密な、また恒久的な服従の義務を負わせ、それを果たせば命を与えることを約束し、破れば死を報いると威嚇し、それを守る力と能力を彼に授けられた。

- わざの契約の本質は恵みではなく、(律法) である。(十戒) と同じように、神様と隣人を人格的に、全きに、厳密に、また常に愛する必要がある。律法の本質は愛である。
- 条件を満たしたら、アダムは永遠のいのちを頂くことができる。神様の(永遠の安息) に入ることができるということである。(参照: 創2:9;ヘブル4:8-9)
- 神様が私たちが創られた(目的) は私たちも神様と共に天国で安息をとることである。そのために、人間は働くのである。(参照: 小教理問答①)

適応: 私たちは何のために働いているのでしょうか? わざの契約の条件を果たすことができるでしょうか? 人生の目的について悩んだことはないでしょうか?

④ エデンの園は天国ではなく、天国に似た「神殿」のような場所で、アダムの従順と愛を試す場所でもあった。
Gen 2:15-16; Gen 3:1-13, 24

- 善悪の知識の木の実実は王としてのアダムの「善と悪の知識」を(試す) ためであった。知識を得る木ではなかった。
- 神様は蛇・サタンをエデンの園に送って、アダムが善と悪の知識を(見極めて)、アダムがすぐにサタンを殺すことができるのかを試した。しかし、サタンの話を聞いて、実を食べたことによって、アダムは(十戒) を破った。
- 神様はアダムを(裁く) ために現れ、わざの契約に従って罪の罰の判決を下された。そして、永遠のいのちへの道を守るために(炎の剣) を置かれた。

⑤ アダムの墮落の結果は何でしょうか?

WSC問16 アダムの最初の違反で、全人類が墮落したのですか。

答 ああの契約がアダムと結ばれたのは、彼自身のためだけでなく、子孫のためでもありました。それで、普通の生まれかたでアダムから出る全人類は、彼の最初の違反において、彼にあって罪を犯し、彼と共に墮落したのです。

- アダムの違反が全人類に(転嫁) されたから、私達は彼と共に墮落した。もしアダムがわざの契約を完成していたら、私達は(天国) へ行けた。

WSC問18 人が墮落した状態の罪性は、どの点にありますか。

答 人が墮落した状態の罪性は、次の点にあります。すなわち、アダムの最初の罪の罪責を負っていること、原義を失っていること、人の性質全体の腐敗つまりいわゆる原罪があること、そこからあらゆる現行罪が生じていることです。

- 私達は(原義) を失い、わたしの性質全体に(腐敗) が入ったので、私達はわざの契約を果たすこともできないし、わざの契約を結ぶ(対象者) にもなれない。

適応: あなたは何らかのわざの契約に入ってると思いますか? あなたは自分でわざの契約を果たすことができないと認めていますか?

⑥ イエス・キリストは第2のアダムであり、彼を信じれば、彼の義が私達に転嫁され、天国の永遠の安らぎを頂くことができます。(ローマ5:15-21; 黙示録5; 黙示録22:1-3, 12-14)

- アダムと同様に、イエス・キリストは神様と(わざ) の契約を結んだのである。
- イエス・キリストの「善悪の知識の木」は(十字架) だった。
- イエス様が完璧にわざの契約を成就したから、彼は蘇り、天に上り、人間として(永遠のいのち) を引き継いだ。その結果、彼を信じれば、私達も報われる。
- イエス・キリストは私たちの代わりに罪責を背負い、その上、私達の代わりに(律法) を果たされたのである。

適応: 自分の行い・苦勞・働きではなく、イエス様の「わざ」により頼んでいますか?

旧約による福音：神様とノアの二つの契約

- ノアの大洪水は神様の(最後の裁き)のひな型である。(参照:マタイ24:37; 2ペテロ3:1-7)
- 創3:15に約束されたように、アダムから二つの(血統)が産み出されるたエバの子とサタンの子。エバの子を代表するアベルは、優れた生贄を神様にささげて、約束された救い主を待ち望んだ。しかし、サタンの子を代表するカインはアベルをねたんで、殺した。ここから血統の間に(敵意)が始まったのである。(参照:創4:1-16)
- アダムの墮落後、神様は行いによる永遠のいのちへの道を防いだが、人間にアダムが託された召しを行う余地を与えた。それは(文明)を発展することができた。その結果、人間はアダムに与えられた賜物を生かして文明を発展して、神様も人間の文明をよしとされたのである。王の形に作られた人間は文明や都市を創り、発展させ、維持するという生得の能力を持っているのである。

① 人間の罪と神様のさばき: 罪とは創造主である王を挑発し、頂いた賜物を悪用し、神様に敵対することである。

箇所: 創4:8-16, 23-24; 6:1-7

Discussion: 神様はなぜカインを守られたのでしょうか。ラメクの歌の意味はなんのでしょうか。「神の子」とはどういう方でしょうか。大洪水を送ることはなぜ「正しい」のでしょうか。

- (4:8-16) 正義のために、神様はカインを呪われた。しかし、(正義の悪用)を防ぐために、神様の呪い以上にカインに復讐したい者を裁かれるのである。ここで「正義」の概念を明確にしたのである。
- (4:19) しかし、サタンの子であるラメクは(罪)の典型的な姿なのである。ラメクは神様から頂いた賜物を悪用し、神様に敵対したのである。神様は人間と文明のために一夫一夫制の結婚をお与えになったが、ラメクは(結婚)を悪用したのである。
- (4:23-24) 神様は人間に(剣)を与えられた理由は、秩序なる(社会)を建てるため、そして(正義)を行うためだったのである。しかし、ラメクは剣を振り回しながら、自分勝手に(復讐)すると二人の妻に歌ったのである。ラメクは神様の創造を(馬鹿)にして、神様を挑発しているのである。
- (6:1-7) この人たちは(サタン)の子である。当時の王であり、ラメクのように結婚を悪用する者になっていた。そして、正義のあった文明を創るよりも、彼らは剣をもって神様に敵対する暴虐に満ちた文明を創ったのである(6:5,11-13)。彼らは神様になりたかったので、「神の子」と自分たちを名付けた。
- ある意味、サタンの子は(天の王座)を強襲しようとし、(王である神様)を暗殺しようとした。その結果、神様は逆襲する必要があった。(参照:イザ14:12-21)

適応: 神様から頂いた賜物の真の目的は何でしょうか。神様に対する適正な態度または姿勢は何でしょうか。私たちはどのように神様から頂いた恵みを悪用しているのでしょうか。どのように神様を挑発しているのでしょうか。「最後の日」の前にいる私たちは同じようなものが見えていると言えるのでしょうか。

② 神様の救いの恵みの契約: 神様はエバの子を裁きを通して救うことをノアと契約された

Discussion: 神様はなぜ箱舟を通して神の民を救ったのでしょうか。なぜ神の民だけを救ったのでしょうか。

箇所: Gen 4:26; 6:8-7:1

- (背景) 当時の人が「大洪水」の話を読むとき、大洪水は神様から来る(水のさばき)だと解釈する。
- 当時、もしある人が有罪にされたら、川に投げ込まれるケースが多かった。もしその人が溺れたら、神様はその人を(不義・有罪)とされた;もしその人が生き残ったら、(義・無罪)とされた。
- (4:26; 6:18-21) - 神様は水のさばき(を通して)エバの子(Gen 4:25-5:32)を救うと契約された。そして、神の民は箱舟に(集められ)、水の裁きから守られるた?参照:イザ26章, 特に20節). ある意味、箱舟は(キリストの体)のひな型であった。洗礼を通して、私たちはキリストの中に究極の水の裁き(蘇りの裁き)から守られ、新しいいのちが与えられた。(参照:1 Pet 3:20-21).
- (6:8-9, 6:22-7:1) (ノアの義)によって、神様は(一時的な)救いをあたえた。ノアはキリストのひな型であり、キリストの義によって私たちは(永遠の)救いをいただけるのである。そして、ノアの義が箱舟に乗った者に転嫁されたように、キリストの義はキリストの体に加わった者に転嫁される。(参照:Heb 11:7)
- (6:12-13,17) (Cf. 2ペテロ3:1-13) - サタンの子はエバの子を激しく(迫害)していた。そのため、エバの子は(悪と迫害)からの救いと大洪水を見ていたのである。しかし、迫害が激しすぎてたつたの(八人)のエバの子しか残らなかった

適応: ノアの家族は教会と似たようなところがありますか?最後の裁きの日に、あなたは誰の義により頼みますか?どのように「最後の日」は神の民のために、慰めとなるのでしょうか?

③ 神様の一般恩恵の契約: 神様は全ての被造物と契約されました、その契約は人間がどれほど罪深くて「最後の日」に「究極のノア」を送ってくださるほど忍耐ある契約である。

箇所: Genesis 8:20-9:17

Discussion: 大洪水の前と後の違いは何でしょうか。大洪水の目的は何でしょうか。誰のため、そして、何のための契約でしたか。

- (8:20-21) - 大洪水は(人の心)を変えることはできない(比較: 創6:5 vs 8:21)。神様はそのような目的で大洪水を送らなかった。人間の罪深さに関わらず、神様は一時的な「水の裁き」を通して人間を(呪わない)こと、そして、創造の通常の(秩序)を保つことを契契約されたの契約は(救い)の契約ではなく、(保護)の契約なのである。
- (9:8-17) - 神様は(全ての被造物)と契約したのである。そのため、契約のしるしは、全ての被造物が見える(虹)にした。虹、休んでいる弓に似ていて神様は一時的な(平和条約)を結んでばれたことを意味する。そして、神の裁きから守る(ドーム)という意味もある。⁵
- (9:1-7) - 人間の保護のために、神様は三つの責任を人間を与える。一つ目は、人口を(拡大)てること(v1)。二つ目は、糧のためにこの地を(耕す)こと(v3)。三つ目は、(正義)を保ち、守ること。しかし、人間がこの責任を失敗しても、神様は絶対に裁かないで、忍耐し続けるのである。
- しかし、一般恩恵の究極の目的は(時間稼ぎ)のためなのである。究極の大洪水(最後の永遠の裁きの日)から救うために、究極のノアである(イエス様)が究極の箱舟である(教会)を創って、神の民を(集める)時間が必要だったのである。

適応: もし一般恩恵を通して神様が敵を愛されるのなら、私たちはどのように敵を愛することができるのでしょうか。(参照 Matt 5:44-45) 一般恩恵をつかって、罪に満ちた社会にある「いいもの」(例: 道徳観、技術など)をどのように説明すればいいのでしょうか。もうすでに究極のノアが来て、究極の箱舟も造られ、いつでも究極の大洪水は起こります。私たちはどのように準備すればよいのでしょうか。

⁵ Ezekiel 1:26-28

恵の契約とアブラハム

信仰基準7.3 人間は自分の墮落によって、自らを、この契約によっては命を得られないものにしてしまったので、主は、普通に恵みの契約と呼ばれる第二の契約を結ぶことをよしとされた(1)。それによって、神は罪人に、命と救いを、イエス・キリストによって、価なしに提供し、彼らからは、救われるためにキリストへの信仰を要求し(2)、そして命に定められたすべての人々が信じようとし、また信じることができるようにするために、聖霊を与える約束をされた(3)。

WSC 86 イエス・キリストへの信仰とは、何ですか。

答 イエス・キリストへの信仰は、救いの恵みです(1)。それによって私たちは、救いのために、福音において提供されているままにキリストのみを受け入れ、彼にのみ寄り頼むのです(2)。

序論: 墮落後に、恵の契約が結ばれた。

- アダムがわざの契約を破った後に、神様は永遠のいのちへ至る道をもう一つ備えられた。それは、創世記3：15で約束されている贖い主、()であった。
- そのため、全人類は死ぬべきものとなったのにも関わらず、アダムは()、妻を「エバ」()と名付けた(創3：20)。
- 創3：15は(恵の契約)の始まりである。もしこの贖い主(のみ)を()、()、()ことができれば、私たちも恵の契約に加わることができる。

① 恵の契約は罪深く、無力な、普通の人々の為です。

Gen 11:27-12:9; 15:1-3 (Joshua 24:1-14)

分析：アブラハムとサラには何が欠けていましたか？ 神様の約束に対してアブラハムとサラはどんな考え、気持ちを持っていたと思いますか？なぜ？アブラハムは信仰を持って応答したのでしょうか？

- (v27) アブラムは普通のおじいさんであった。神様は()理由で彼を選んだわけではなかった
- (v28) アブラムは()にどっぷり関わっていた罪深い人であった。400年後のイスラエル人の子孫がまだ彼の偶像を持っていたほど、アブラムは偶像崇拝に関わっていた。(参照：ヨシュア 24:2,14).
- (v29) サライは()の女だったため、当時の目から見ると、後継者を産むことができないため、アブラハム家は価値のない存在とみられていたのである。
- (12:1-3) それにも関わらず、神様はアブラム部族に王国を約束された。この王国は地の王国でもあり、()王国でもあった。わざの契約でアダムに約束された同じ永遠の安らぎの王国だった。(参照：ヘブル11：13-19)
- (15:1-3) アブラムは()な状態だったゆえに、彼は神様の約束を信じられた。しかし、数年後、神様を()、自分の()で後継者を探そうとした。

適応：私たちも同じように罪深い、無力な状態にいるのでしょうか？自分の状態をみて虚しく思っていないのでしょうか？約束を聞いて、あなたは何かができますか？

② 恵の契約は神様の約束であり、私たちはただその約束を認め、受け入れ、より頼むのである。

Gen 15:4-17 (Gal 3:9ff; Rom 4:1-8)

- (V4-5) ()を使って、神様はアブラムが約束を待ち望むようにと希望を与えられた。

- (V5b-6) 約束はこの世の目から見ると不可能かもしれないが、アブラハムはイエスキリストがこられる約束を認め、受け入れ、より頼んだのである。(Rom 4:1-5 and Gal 3:8, 15-18)
- (v7-8) アブラムは信仰をもって、まだ神様を()。「確信」は信仰の本質ではなく、信仰の()なのである。
- (v9-17) 当時の政治的儀式によって、()低いポジションをとって、「もし約束をやぶったとすれば、裂かれた動物になります」と決心したのである。神様は約束を破るよりも()と宣言されました。

③ 恵の契約に加わっている人は不従順でも、弱い信仰であっても、絶対に救われる

Gen 16:1-2; 17:15-21; 18:1-2,9-15 (Gal 4)

分析：サラとアブラハムはなぜイシュマエルを生んだと思いますか？アブラハムはなぜ笑ったと思いますか？サラはなぜ笑ったと思いますか？

- (16:1-2) 弱い信仰によって、サラは神様が約束を成就することができないと思って、自分の()によって救い、約束の成就を得ようとした。
- (17:15-16) 神様は彼らに確信をもたせるために、与える王国の王と女王の()を彼らに与えられた。
- (v17-21) しかし、弱い信仰によって、アブラハムは神様を疑い、自分の行いを全面に出して、ハガルの子、イシュマエルを祝福しようとする。
- (18章) サラが神様の約束に対して笑った理由は、神様の約束を()失望したからである。もし信仰がなければ、期待はそもそもない。

適応：私たちは神様の約束を疑っていないでしょうか？それはなぜでしょうか。サラとアブラハムのように、私たちはなぜ常に自分の価値を生み出したくても、生み出す事ができないのでしょうか。

④ 恵の契約の成就是三位一体の神様のわざによるのである。

Gen 21:1-7 (Rom 4:16-25)

分析：神様はどのようにアブラハム・サラの約束を果たされましたか？私たちとどうつながっているのでしょうか？

- (Gen 21) サラの疑いと失望があったとしても、()イサクによって、神様はそれを真の笑いに取り替えてくださる。私たちの疑いも失望も、究極の笑いの子、イエスキリストを通して、天の御父が()に取り替えて下さる。(参照:イザヤ54:1-8) その上、神様は私たちの「不妊」であり「死んでいる」心を命に満ち溢れた心に変えて下さる。
- (Romans 4:16-25) この世の目では、私たちの弱さと罪を見ると、信仰は()行為と思われるかもしれない。しかし、信仰は自分の性質、行い、信仰の行為を見ないで、()の性質、行い、忠実さにより頼む行為なのである。
- 神様が私たちをアブラハムの子として、また共同相続人としてくださる理由は、聖霊様によって()同じ()約束を信じているからである。(Gal 4:28-5:1).

適応：創世記のストーリーの中では、私たちは誰でしょうか。(答え：創15:3の異邦人)

シナイ山契約: 神の民を「教育」する契約

ウエストミンスター信仰告白7.5 この恵みの契約は、律法の時代と福音の時代とで異なって執行された。律法のもとでは、それは約束、預言、犠牲、割礼、過越の小羊、その他ユダヤの国民に与えられた予型や規定によって執行され、それらはすべて来たるべきキリストを予示していて、約束のメシヤへの信仰に選民を教え育てるのに、その時代にとっては聖霊の働きによって十分で有効であった。このメシヤによって、彼らは完全な罪のゆるしと永遠の救いを得ていた。それは旧約と呼ばれる。

ウエストミンスター信仰告白7.6 本体であるキリストが現わされた時代である福音のもとでは、この契約が実施される規定は、み言葉の説教と、洗礼並びに主の晩餐の礼典の執行である。それらは数が少なくなり、より簡単に見栄え少なく執行されてはいるが、それでもなお、この契約はそれらの中に、ユダヤ人にも異邦人にもすべての国民に、一層十分に明確に、そして霊的効力をもって提示されている。これが新約と呼ばれる。だから本質上異なった二つの恵みの契約があるのではなくて、違った時代のもとに、同一のものがあるのである。

- 恵みの契約は同一の(本質)が、異なった(執行)(Administration)がある。
- 恵みの契約の中には、(旧約)と(新約)と異なった執行があるが、旧約と新約の本質は同じ(イエス・キリスト)の福音と救いを指すことである。
- そして、恵みの契約の旧約の中にも様々な執行がある:(創世記3:15)、(アブラハム契約)、(ノアの箱舟契約)、(シナイ山契約)、(ダビデ契約)。
- アブラハムの契約とシナイ山の契約がよく(対比)されている理由は、アブラハムは(信仰)を重視し、シナイ山は(律法)を重視しているからである。しかし、どちらも同じ本質を持っている。
- シナイ山の理解を間違えると、(救い)の理解、(聖化)の理解、そして、(新約全体)の理解を間違える可能性が高くなる。そしてそれは、(宗派)の違いにも関わるのである。

①シナイ山の契約は神様の恵みによって神様の民になるが、行いによってそのステータスを維持して、約束の地を所有することができる。

箇所: 出エジプト記19:3-6; 申命記11:13-17; 申命記29:16-28

Discussion: 何に基づいた契約でしょうか? 行いでしょうか? 律法でしょうか?

- シナイ山の契約は(信仰)と(律法)が混ざっている契約なのである。
- (Ex 19:3-4) シナイ山は(恵)の土台に設立されている。神様は(アブラハム)の契約に基づいてイスラエルを救い、神様の御臨在まで導いたのである。
- (Ex 19:5-6) しかし、シナイ山の契約は(条件付き)でした。もし神様の御声に(聞き従い)、契約を(守れば)、イスラエルは神様の(宝)となる。そしてシナイ山の契約は(結婚)の契約と似て(参照:エレミヤ31:32)、(二人)の契約関係者の従順によってが契約が守られる。しかし、もし一人の契約関係者が契約を破ったら、もう一人の関係者は契約を(なし)にすることができる(Cf. Golden Calf - Ex 32-34)。
- (Deut 29:16-28) 神様は愛の神様でもあるが、(義)の神様でもある。愛する民が神様を裏切り、他の神様と(姦淫)したら、(誰を)約束の地、そして、神様の御臨在から追い出すことを恐れていない。
- (Deut 11:13-17) 契約の基準をまとめているのは(十戒)である(Cf. Ex 20)。もし律法を果たすことができたら、(地)の(祝福)が得られる。そして、律法を破ったら、(地)の(呪い)がかかるのである。しかし、これは(わざの契約)と違い、(永遠のいのち)と(永遠の呪い)を指していない。

適応: クリスチャン生活はシナイ山契約のような恵と行いが混ざっている契約だと思いますか?

②シナイ山の契約の目的は人間の無力さと罪深さを明確にして、イエスキリストにある信仰のみの救いに導くことである。

申命記31:24-29; Galatians 3:10-24

- (申31:24-29) 神様とモーセはイスラエルが律法を(守れない)ということを最初から予想していたのである。その結果、シナイ山の契約は、ある意味(壊れた)契約(Cf. Jer31:32)で、シナイ山を通して救いを(得ること)ができないのである。
- (ガ3:10-18) 律法に基づいたシナイ山契約は(信仰)に基づいたアブラハムの契約と全く(対立)している。シナイ山の律法によって(自分の義)で救いを得ようとするなら、私たちはただ呪われる。しかし、約束されたイエス様を(信じ)、(イエス様)の義により頼むなら、私たちは救われる。(信仰のみ)の救いの道しかないのである。
- (ガ3:19-20) 律法の第一の目的は私たちの(罪深さ)そして(無力さ)を強調するためである。私たちは(わざの契約)の簡単バージョンを果たすことはできないのである。
- (ガ3:21-24) シナイ山契約の(本質)とアブラハム契約との違いはない。律法はイエス・キリストが来るまでの(養育係)なのである。律法を行うことの「難ししさによって、私たちは自分の義に頼りたくなる。その結果、私たちは(他者)の義により頼むようになるのである。シナイ山契約はアブラハム契約を(補う)契約なのである。
- (ガ4:1-5) イスラエルは(律法)という養育係・管理者の下にいたが、イエス様は自らイスラエル人として生まれ、神様の律法とシナイ山の契約の律法を全て果たされたのである。第2アダムとして、そして(究極のイスラエル)、十字架で律法を果たしてくださったのである。(Cf. Luke 4:1-13)

適応: 律法は何でしょうか (Cf. Matt 22:36-40)? 私たちは律法をどのように使っていますか? 自分に対してどのような期待をもっていますか? 律法が信仰のみの救いに導いていると思いますか?

③シナイ山契約の中にも、あらゆるひな型・予型を通してイエス・キリストにある信仰のみの救いを指していたのである。

箇所: 出エジプト記32:1-14; ヘブル書7:11-28, 9:11-14

Discussion: モーセ・大祭司・生贄・過ぎ越しはどのようにイエス様の予型であったのでしょうか

- (モーセ - Ex 32:1-14) - イスラエルが金の子牛を造った時に、モーセはシナイ山の契約を(破った)。ハネムーンの一泊目に浮気するようなことだ。しかし、モーセはイスラエルのために執り成した。イエス様はモーセのように私たちのために執り成しをして、(自分の義)によって弁護して下さるのである。
- (大祭司・生贄・神殿 - Heb 7:11-28; 9:11-14) - 罪深いイスラエルをきよめるために、大祭司は神殿で神様の御前に立って生贄を捧げていた。イエス様は最も良い大祭司で、天におられる神様の御前に、御自分の生贄と義によって、私たちの罪を完璧に、そして、永遠にきよめてくださったのである。
- (約束の地・シナイ山 - Heb 4:1-13; 12:18-24) - 約束の地、そして、シナイ山はイスラエルに与えられたが、それは天にある新しいエルサレム、約束の地のひな型であった。

適応: ひな型が指していた(成就)—イエス様—がもうすでに来られたので、(すたれた)ひな型を活用する必要はもうないのである。

ダビデ契約: アブラハム契約とシナイ契約の成就

序論 - イスラエル人がシナイ山契約を破る

- シナイ山契約は(行い)による契約であったが、恵の契約の(執行)である。もしイスラエル人が神の律法を守れば、神様はカナンの地という(物質的)な祝福をお与えになる。しかし、彼らはシナイ山契約を守れないので、この型を通して、天国という永遠の(天の)祝福を得るために、律法とは別に、アブラハムの子孫にのみより頼むしかないシナイ山契約は究極的に教えている。(参照: ガラテヤ3:21-29)
- シナイ山契約は二つのことに従うことが必要だったのである。(律法)を完璧に守ることと、約束の地にいる偶像と偶像礼拝者を(破壊)することである。しかし、神様、モーセ、ヨシュアはイスラエル人はそれを守れないと予期していたのである。(参照: 申命記31:24-29、ヨシュア24:14-28)そして、イスラエル人は契約を破ったのである。モーセの時代は(不従順)によって約束の地に入れなかった(Num 14:26-35)。ヨシュアの時代とその後の時代は不従順によって神様は(異邦人)がイスラエルを支配することを許された(士師2:1-15)。イスラエルが助けを求めたので神様は民を救われたが、イスラエルは罪を犯し続けた(士師2:15-23)。
- イスラエルは、自らの不従順によって約束の地から追い出されシナイ山の契約を頂くことができないという事実があった。だからこそ、天と地の祝福を得るために(他者)の従順により頼む必要があった。

①イスラエルの個人的な従順により頼むよりも、代表である人間の王の従順により頼んだ。

箇所: 士師21:25; 申命17:14-20; 1サム8:4-9, 1サム13:1-14

Discussion: 士師記のイスラエルには何が必要だったのでしょうか? 申命記17の王と1サム8の王の違いは何でしょうか? なぜサムエルは失敗したのでしょうか?

- 士師21:25 - イスラエルは律法を守れないため、彼らの(代わりに)従順を行う代表が必要であった。その上、救い主であるエバの子、アブラハムの子孫が王である必要があったし、王であることも預言されていた。(Cf. Gen 49:10; Num 24:17)
- 申命17:14-20 - ヤハウエイ王はイスラエルの中から(人間)の王を立たせることをゆるされた。もしこの王が(神様)ではなくただのイスラエル人であれば、自分の益のためではなく(民)の益のために常に治め、神様の下にいる王国の管理者として神様の(律法)を守るという条件で、神様は王を立てることを許されたのである。イスラエルの王はエデンの園でなすべきことを描写している。
- 1サム8:4-9, 13:13-14 - しかし、イスラエル人は罪深く、(他国)のような王様を欲しがっていた。神様の支配から(独立)して(Cf. 8:5)、自分達を守ってくれるような、神様ではない人間の王様が欲しかったのである(Cf. 8:19)。イスラエルの究極の王である神様の(絶対主権)を否定したかったのである。(サウル)王はイスラエルの間違った願いの成就であった。サウルの不従順によって神様はサウル家から王の(主権)を取り去ったのである。

適応: あなたはイスラエルの民のように、神様の絶対主権または律法を曲げ、軽んじ、無視し、逃げたことはありますか。律法が守れないということを通して、従順な代表の必要性が明らかになりましたか?

②ダビデ契約は来る王の中にアブラハム契約とシナイ山契約の成就を置くのである。

箇所: 2サム7:1-17

Discussion: ダビデ王はどのような王でしたか? ダビデ契約はどのような契約でしたか? 行いか恵みによる契約でしょうか? どのようにイエス様を指すのでしょうか?

- 2サム7:1-7 - ダビデ王は究極の王である神様に従うイスラエル王の(模範)である。彼は積極的に神様の律法を守り、正しい神様の(礼拝)を求め(1サム6)、神様に従って聖なる約束の

地にある偶像と偶像礼拝者を(破壊)したのである(1 Sam 17, 8:1)。そして、彼はイスラエルの民の益のために王国を治めた(2 Sam 8:15)。

- 2 Sam 7:8-11a - ダビデの(従順)によって、神様はイスラエルの民を祝福し、約束の地を引き継ぐことができたのである。ある意味、義の転嫁によって、イスラエルはシナイ山契約の祝福を得たのである。
- 2 Sam 7:11b-12 - 神様の恵みによって、神様はダビデの子孫を通して、神様の永遠の神殿、時代、王国を建てると約束した。そして、神様はこの子孫を(神の子)とすると約束したのである。
- 2 Sam 7:13-17-しかし、神の子になるため、完璧な従順が必要だったのである。シナイ山契約と違って、神様は必ずこの子孫を送り、永遠の王国を建てると約束されたのである。サウルのように、(王権)をダビデ家から取り去らなかったのである。

適応: 私たちはダビデのように従順であり、熱意のある、愛に満ちた神の民でしょうか。私たちの代わりに永遠の神殿と王国を建て、私たちの代わりに従われた究極のダビデ王により頼んでいるでしょうか。

③ダビデの子孫の失敗によって、神の民は究極の油注がれた者を待ち望んだのである。

箇所: 1列王 9:1-9, 11:1-13; エゼキ34:1-24

Discussion: ソロモンが神殿を建てた後、神様はなぜ神の民に従順を求めたのでしょうか。神様はどのように不従順に応答したのでしょうか。神様の解決策は何だったのでしょうか、

- 1列王9:1-19 - ダビデではなく、ソロモンがイスラエル国の(クライマックス)なのである。安らぎのある、富に満ちた、神様の神殿のある王国を建てたからである。しかし、ソロモンは神殿を建てたので、永遠の王国を確保したかのように思ったが、神様は従順の(条件)をソロモンに思い出させた。
- 1列王11:1-13 - ソロモンの不従順によって王国が(割れ)、ソロモンは2サム7の成就ではないということが明らかになった。では、誰が永遠の王国を引き継ぐ者になるのか？
- エゼ34:1-10 - ヤハウエイ王はソロモン以後のイスラエルの王様たちの不従順を訴えた。イスラエルの民を利用して、王様たちは民の益を考えるよりも(自己中心)に治めていたのである。王の不従順によって、イスラエルは約束の地から追い出され、シナイ山の呪い(バビロン捕囚)がイスラエルにかかったのである。
- エゼ34:11-22 - もう人間の王に頼らず、神様ご自身がイスラエルの王になり、羊を(養い)、そして、(治める)ことを約束された。
- エゼ34:23-24 - 捕囚の前との地の預言者のメッセージは、ヤハウエイ王が油注がれた王(メシヤ)を通して神の民を救い出されることを預言している。しかし、常に神様なのか、人間のメシヤなのかがいまいだったが、神性と人性をお持ちであったイエスキリストはその(成就)なのである。

Application: イエス様が「良き羊飼い」とか「油注がれた王」として呼ばれるとき、この背景はどのようにその意味がありますか？あなたはイエス様を私たちのために死んでくださり、私たちのために従がわれた王として見ていますか？

新しい契約:最後の契約、すべての成就

ウ信仰告白 7.5-7.6

5 この契約は、律法の時代と福音の時代とで異なって執行された。律法のもとでは、それは約束、預言、犠牲、割礼、過越の小羊、その他ユダヤの国民に与えられた予型や規定によって執行され、それらはすべて来たるべきキリストを予示していて、約束のメシヤへの信仰に選民を教え育てるのに、その時代にとっては聖霊の働きによって十分で有効であった。このメシヤによって、彼らは完全な罪のゆるしと永遠の救いを得ていた。それは旧約と呼ばれる。

6 本体であるキリスト(が現わされた時代である福音のもとでは、この契約が実施される規定は、み言葉の説教と、洗礼並びに主の晩餐の礼典の執行である。それらは数が少なくなり、より簡単に見栄え少なく執行されているが、それでもなお、この契約はそれらの中に、ユダヤ人にも異邦人にもすべての国民に、一層十分に明確に、そして霊的効力をもって提示されている。これが新約と呼ばれる。だから本質上異なった二つの恵みの契約があるのではなくて、違った時代のもとに、同一のものがあるのである。

① 新しい契約は破ることができるシナイ山契約よりも良い契約であるゆえ、過ぎ去った古い契約に戻る必要はない。

聖書箇所: エレミヤ 31:31-34; ヘブル 8:5-13

Discussion: 古い契約とは何でしょうか? なぜ古い契約は破ることができるのでしょうか。新しい契約は破ることができますか。新しい契約は何を約束しているのでしょうか。どの時点でこの祝福を得ることができるのでしょうか。古い契約と新しい契約をどのように比較すればいいのでしょうか。

- (Jer 31:31-32) 新しい契約を()契約と比較するなら、シナイ山契約は「古い」契約となる。シナイ山契約は(破ることができる)結婚に似た契約であり、神様の花嫁であるイスラエルの忠実さと従順さに基づいた契約である。新しい契約はそれとは異なり、アブラハムの契約と同様に神様の恵み()に基づいていた。(参照:ガラテヤ4:22-5:1)
- (Jer 31:33-34) シナイ山契約は新しい()を約束していたが、新しい契約は新しい()を約束している。神の民の霊的()を約束していて、民は()神様を親しく知り、罪のない従順を行うようになる。その上、過去の罪の完璧な()を頂くことができる。そして、これはイエス様の()のときに頂くことができる祝福である(黙21-22章)。シナイ山契約は限りのある、()な祝福を約束していたが(申28-29)、新しい契約は完璧な永遠の祝福を得ることができる。(エゼ36-37)
- (Heb 8:5-8,13) シナイ山契約は、死んでしまう仲介者を通して、天にある祝福の(写しと影)を約束するが、新しい契約は、永遠に生きる仲介者を通して、天にある実際の祝福を約束する。、それ故シナイ山契約は(古い)とされた。

適応: 旧約と新約の流れを理解したなら、私たちはシナイ山契約または律法とどのような関係を持てばいいのでしょうか? 私たちはどのようにクリスチャンライフを過ごしたらいいのでしょうか? (Cf. Heb 12:18-28)

② 新しい契約はイエス様が救い主であることをより一層、明確に証しているのである。なぜかという、新しい契約は過去の契約を全て成就するからである。

箇所: ローマ5:15-17; 2ペテロ 3:4-9; ローマ 4:13-17; ガラ4:4-5; ローマ 1:1-7

Discussion: 新しい契約はどのように旧約の契約を成就するのでしょうか。

- わざの契約の成就 - Rom 5:15-17 - 第2アダムであるイエス様は完璧な従順によってわざの契約を成就して、()として永遠のいのちを得られたのである。そして、恵みの契約を通して、イエス様は私たちにご自身の義と天で得た祝福を一方的に与えられ、私たちは信仰のみによって受けるのである。
- ノア契約の成就 - 2ペテロ 3:4-9 - イエス様の再臨で恵みの契約を完成される際、ノアの契約の目的である()のために人類を保護する目的が果たされる。
- アブラハム契約の成就 - Rom 4:13-17 - イエス様はアブラハムが持ち望んでいた究極の(子孫)である。その結果、もし同じ救い主である「エバの子」により頼めば、アブラハムの信仰の子となり、彼と同様に永遠の遺産の()になるのである。
- シナイ山契約の成就 - Gal 4:4-5 - 神様の()であったイスラエルの民は不従順でシナイ山契約と(わざの)契約を破った。それゆえに、イエス様はイスラエル人として()の下にお生まれになり、完璧な子として生きられたから天の遺産を受ける権利を得られた。そして、イエス様は長男としての遺産を私たちに分かち合ってくださいるのである。

- ダビデ契約の成就 - Rom 1:1-7 - ソロモン王と違って、イエス様は完璧な王様であり、律法に従い、犠牲的に神の民に仕えられた。それ故に、イエス様は不滅な王様として蘇られ、永遠の王国を引き継いで、天と地の王様として治めておられるのである。

適応: もし新しい契約をより十分に、そして、明確に、旧約の成就であることを知ることができたら、どのようにあなたの信仰が強められ、恵みのみにより頼むようになるでしょうか。このような力強い契約の成就があるのに、まだあなたが納得するような力強い印、より明確な証拠などが要るでしょうか。

③ 新しい契約は将来の天の祝福を今の教会に与えるのである。

聖書箇所: Acts 2:14-21, 33; Rom 5:9; Rom 8:11; Eph 1:13-14, 2:5-7

Discussion: 新しい契約のはじまりはいつでしょうか。新しい契約はどのようにその契約の祝福を十分にもたらずでしょうか。どのように霊的に有効でしょうか。なぜ他国の人も加わることができるのでしょうか。新しい契約の中で聖霊様はなぜ重要なのでしょうか。

- (Acts 2:14-21) ペンテコステは新しい契約の成就の()である。ある意味、「()の日」または終末のはじめなのである。聖霊様がこの地に下られたことによって、イエス様が得られた終末の天の祝福の()を教会に与えられたのである(2:33)。(※初穂とは収穫の最初の実であり、これから得られる収穫の実を示している。)そして、聖霊様はあらゆる国の人の内に住まわれた。
- (Rom 5:9) - 第一の天の祝福 - イエス様の血潮により私たちは()義と認められたので、私たちは(すでに)神様の最後の裁判の判決を頂いている。クリスチャンは終末では行いによっては裁かれないのである。
- (Rom 8:11) - 第二の天の祝福 - 聖霊様がイエス様を蘇らせたので (Cf. ローマ1:4)、私たちも「最後の日」に罪のない、聖なる、栄光に満ちた、不滅の体として蘇らされる。しかし、この「栄化」に至る道のりはすでに今現在の()から始まっている。聖化は将来の「蘇り」の体の初穂なのである。
- (Eph 1:13-14, 2:5-7) - イエス様にある私たちの為の将来の天の遺産は聖霊様によって証印されている。そして、終末に、豊かな恵みまたは天の祝福が私たちに与えられます。それは、聖霊様によって、私たちの魂がすでに蘇らされており、今現在も()の神様の右の座に座らせていただいているからである。

適応: 今頂いている新しい契約の天の祝福を改めて聞いた今、どのようにあなたの信仰と希望が強められたでしょうか。またどのように新しい契約の成就の「完了」(または終末)をより待ち望めるようになったのでしょうか？

